

# 高校生英語学習者へのメタ認知読解方略指導が トップダウンリーディングに与える影響

中村 拓也

（立正大学附属立正中学高等学校・東京家政大学大学院生）

## 1. はじめに

読解ストラテジーに関する研究は、国内においても多く行われている。Hiromori (2005)では、大学 1 年生 60 名を実験群と群統制群に分け、メタ認知ストラテジー指導を行った。実験群( $n=30$ )を上位、中位、下位に分け、それぞれに読解ストラテジーに加えて、メタ認知ストラテジーを指導した。その結果、実験群に効果が見られ、特に下位グループに読解テストによる上昇が見られた。

しかし、テキストレベルが学習者のレベルとかけ離れていて、効果が出なかった研究もある(Kimura, 1999)(飯島, 2000)。また、いずれの研究においてもそれぞれのストラテジー指導を 1 度しか行っていない。

そこで昨年、日本人高校生を対象に、テキストレベルを学習者に合わせ、トップダウンリーディングに関する読解ストラテジー 3 種類（①タイトルと設問を参考に本文の概略をつかむ；②各パラグラフのトピックセンテンスに注目し本文の概略をつかむ；③ディスコースマーカーに注目し効率的に本文を把握する）を、メタ認知ストラテジーと共に 2 度指導した場合の影響を、質的に研究した。その結果、③に関しては全ての学習者が有効にストラテジーを使用することができたが、①と②に関しては、「概略」をつかむ際に深く推測しすぎてしまうなど、効果が出ないケースが多く見られた。

よって本研究では、前回の研究を踏まえ、「概略をつかむとは」などの説明に工夫を加えながら、ストラテジー指導の 3 回目を実施した。

## 2. 研究課題

学習者のレベルにあったテキストを使用して、トップダウンに関する認知的ストラテジーとメタ認知ストラテジーをそれぞれ 2 回ずつ指導された高校生に、3 回目の指導をすると、指導したストラテジーを使用できるようになるか。

## 3. 研究方法

指導回数を除いて前回の研究と同様である。

### (1) 参加者

参加者は都内私立高校に在籍する 3 年生 5 名。男子 3 名、女子 2 名。英検 2 準級取得者 1 名、3 級取得者 3 名、4 級取得者 1 名。全員読解ストラテジー並びにメタ認知ストラテジーを明示的に教授された経験はない。

### (2) 使用テキスト

英文テキストは、英検準 2 級取得者には英検 2 級の長文問題、3 級取得者には準 2 級問題、4 級取得者には 3 級問題を使用した。

### (3) 読解ストラテジー

Ikeda (2007) “Schedule for Explicit/Intensive Strategy Intervention”を参考に、トップダウンリーディングに関するもの(A～C)を設定し、A から C の順番で 3 週間にわたり指導する。

A: using title and questions attached to understand the outline of the passage

(タイトルや設問を参考に、本文の概略をつかむ)

B: identifying the topic sentence in each paragraph to understand the outline of passage

(各パラグラフのトピックセンテンスに注目し、本文の概略をつかむ)

C: paying attention to discourse markers to comprehend a passage more efficiently

(ディスコースマーカーに注目し、効率的に本文を把握する)

Week	Reading Strategies Taught
Week 1	using title and questions attached to understand the outline of the passage
Week 2	identifying the topic sentence in each paragraph to understand the outline of passage
Week 3	paying attention to discourse markers to comprehend a passage more efficiently

A; B に関して、「概略」はあくまでも概略であり、本文の詳細までは推測しないよう指導した。

### (4) メタ認知ストラテジー

『英語教師のための学習ストラテジーハンドブック』p.49 表 4.3 「目標到達度の自己評価」を使用し毎回授業ごとに使用したストラテジーの内省を促す。

## 4. 結果

読解の負担が軽減したとコメントする実験協力者が出るなど、一定の効果が見られたが、一方で、トピックセンテンスの適切な抽出に至らない協力者も見られた。

## 5. 引用文献

飯島博之(2000). 「テキストの難易度が日本人 EFL 学習者の読解ストラテジーに及ぼす影響に関する研究」『関東甲信越英語教育学会研究紀要 第 14 号』

大学英語教育学会学習ストラテジー研究会(2006). 『英語教師のための「学習ストラテジー」ハンドブック』東京：大修館書店

Ikeda, M. (2007). *EFL Reading Strategies Empirical Studies and an Instructional Model*. Tokyo: Shohakusha

Kimura, Y (1999). Metacognitive awareness training and reading comprehension of Japanese EFL learners. *JACET Bulletin*, 30, 45-58

Hiromori, T (2005). Metacognitive strategy instruction in L2 reading. *Research Bulletin of English Teaching*, 2, 1-19